


会派名 創流会

# 支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		

区分	事由	費目				金額	小計
		交通費	旅費	資料作成費	振込料		
1	調査研究費	旅費(行政調査:7/2~4八戸市、弘前市、大館市、大仙市)	交通費	旅費	79,350	自動車燃料費	79,350
			資料作成費	調査委託費		振込料	
2	研修費		会場費	講師謝金		出席者負担金・会費	
			交通費	旅費		自動車燃料費	
			資料作成費	食糧費		振込料	
3	広報費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	広報誌(紙)		報告書等印刷費	
			送料(折込料含む)	ウェブページ掲載代		茶菓子代	
			振込料				
4	広聴費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費		交通費	旅費		自動車燃料費	
			資料作成費	振込料			
6	会議費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	振込料			
7	資料作成費		印刷製本費	翻訳料		筆耕料	
			振込料				
8	資料購入費		法規追録代	参考図書代		新聞(日刊紙)購読料	
			雑誌等購読料	有料データベース等利用料		振込料	
9	人件費		賃金	社会保険料等		振込料	
10	事務所費		備品購入費	事務機器等リース代		消耗品等事務費	
			印刷代	振込料			
11	通信運搬・自動車燃料費		電話料(按分)	郵便料等		自動車燃料費(按分)	
			その他				
使用者	大城 宏之 	支出年月日	平成 30年 6月 29日	現金出納簿 支出番号	1	合計	79,350円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 1

会 派 会 長 様

申請代表者氏名 大城 宏之



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	79,350円（1人あたり 79,350円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	行政視察	
用務先	7/2 青森県八戸市八戸ブックセンター	
	7/3 青森県弘前市役所・大館市役所	
	7/4 秋田県大仙市アーカイブス	
内容	八戸市：本のまち八戸の取り組みについて	
	弘前市：ローカルベンチャーの育成について 大館市：サテライトオフィス事業について	
	大仙市：公文書館の設置について	
期間	平成30年 7月 2日 ～ 平成30年 7月 4日（2泊 3日）	
行程	別紙行程表のとおり	
出張（調査等）者氏名	・大城 宏之	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	平成30年 6月 29日
			許可日	平成30年 6月 29日
			支出日	平成30年 6月 29日

上記金額を受領しました。

平成30年 6月 29日

申請代表者氏名 大城 宏之

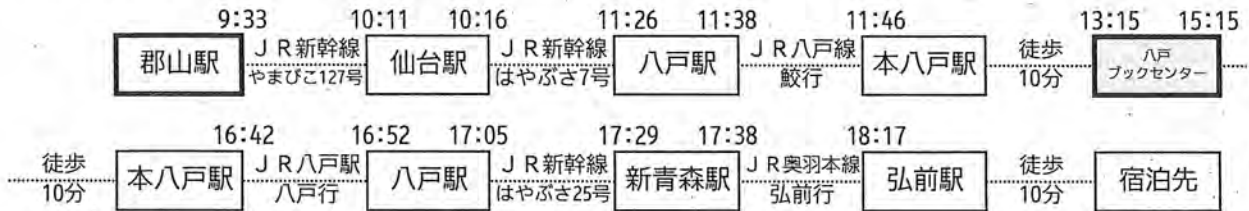


平成30年度 創流会 行政調査行程表

1 行程

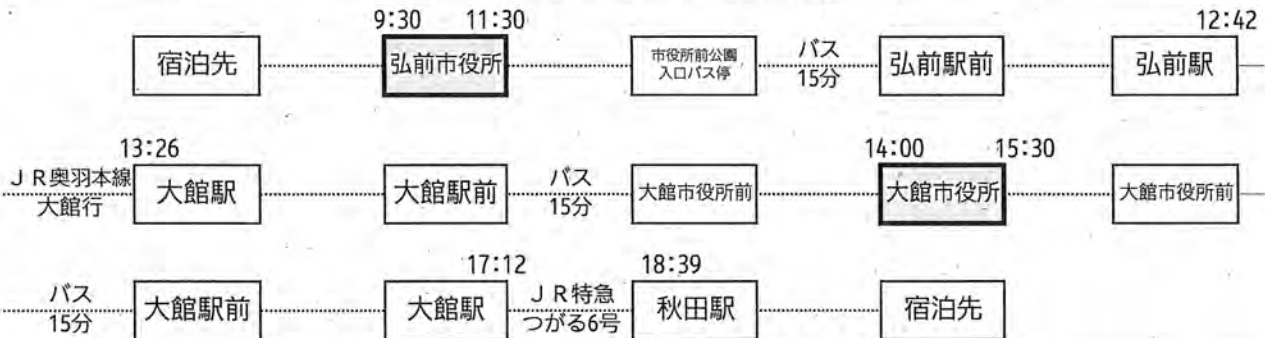
□ 1日目：7月2日(月)

八戸市：本のまち八戸の取り組みについて



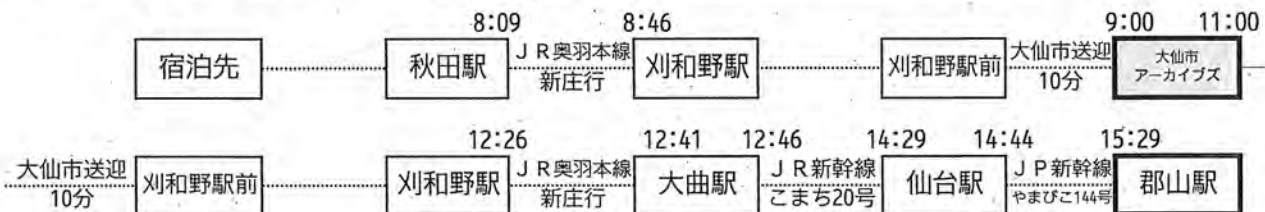
□ 2日目：7月3日(火)

弘前市：ローカルベンチャーの育成について  
大館市：サテライトオフィス事業について



□ 3日目：7月4日(水)

大仙市：公文書館の設置について



2 人員 1名

大城 宏之 議員

3 調査内容

○平成30年7月2日(月) 13:15~15:15

八戸市：八戸ブックセンター  
・本のまち八戸の取り組みについて

○平成30年7月3日(火) 9:30~11:30、14:00~15:30

弘前市役所  
・ローカルベンチャーの育成について  
大館市役所  
・サテライトオフィス事業について

○平成30年7月4日(水) 9:00~11:00

大仙市：大仙市アーカイブズ  
・公文書館の設置について

4 連絡先等

(1) 八戸ブックセンター【調査先】

〒031-0033 青森県八戸市六日町16番地2

TEL 0178-20-8368

(八戸市議会事務局 庶務課 0178-43-2145)

(3) 大館市議会事務局 キタバヤシ様

〒017-8555 秋田県大館市字中城20番地

TEL 0186-43-7108

(2) 弘前市議会事務局 フクダ様

〒036-8551 青森県弘前市大字上白銀町1-1

TEL 0172-35-1121

(4) 大仙市アーカイブズ【調査先】

〒019-2335 秋田県大仙市強首字上ノ台1-2

TEL 0187-77-2004

(大仙市議会事務局 シンドウ様

TEL 0187-63-1111 (内線304) )

# 行政調査旅費計算書

会派名 : 創流会

参加議員 : 大城 宏之

日程 : 平成30年7月2日(月)～7月4日(水)

行先 : 八戸ブックセンター:青森県八戸市六日町16番地2

弘前市役所:青森県弘前市大字上白銀町1-1

大館市役所:秋田県大館市字中城20番地

大仙市アーカイブス:秋田県大仙市強首字上ノ台1-2

1日目  
7/2(月)

郡山	仙台	八戸	本八戸	八戸	新青森	弘前
新幹線 125.1	新幹線 280.1	5.5	5.5	新幹線 81.8	33.5	
運賃	8,420 ※1	190	190	※1		8,800
急行料金	4,960			2,360		7,320
グリーン	4,110					4,110
実費						0

※1 郡山駅～弘前駅までの乗車券

2日目  
7/3(火)

弘前	大館	秋田				
44.2	特急 104.2					
運賃	9,290 ※2					9,290
急行料金	1,860					1,860
グリーン						0
実費						0

※2 弘前駅～郡山駅(秋田経由)の運賃であり翌日も使用。

3日目  
7/4(水)

秋田	刈野	大曲	仙台	郡山		
38.1	51.7	新幹線 259.1	新幹線 125.1			
運賃	※2					0
急行料金			5,260			5,260
グリーン			4,110			4,110
実費						0

※2 前日の乗車券を使用。

交通費	40,750		40,750
日当	3,000 ×	3日 =	9,000
宿泊費	14,800 ×	2泊 =	29,600
合計		79,350円	×1人 = 79,350円













出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 1

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。



出張（調査等）議員名

・大城 宏之		・	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

記

期 間	平成30年 7月 2日 ~ 平成30年 7月 4日 ( 2泊 3日)				
目 的	八戸市：本のまち八戸の取り組みについて 弘前市：ローカルベンチャーの育成について 大館市：サテライトオフィス事業について 大仙市：公文書館の設置について				
用 務 先	7/2 青森県八戸市八戸ブックセンター 7/3 青森県弘前市役所・大館市役所 7/4 秋田県大仙市アーカイブス				
行 程	別紙行程表のとおり				
内容及び成果	別紙報告書のとおり				
旅 費 精 算	受領額	79,350円	精算額	79,350円	返納額 0円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

会 派 会 長	経 理 責 任 者			受 理 日	平成30年 7月 7日
				確 認 日	平成30年 7月 7日
				精 算 日	平成30年 7月 7日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

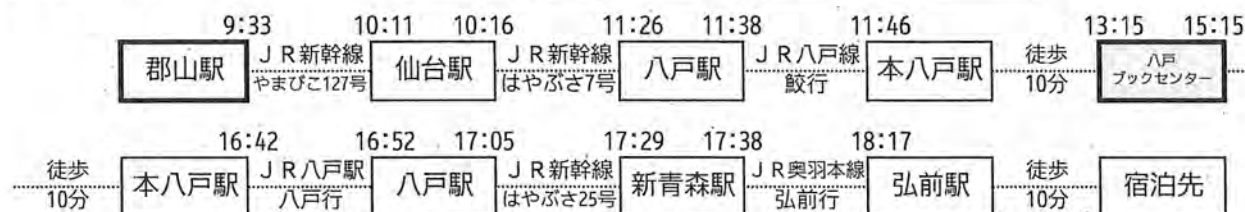


# 平成30年度 創流会 行政調査行程表

## 1 行程

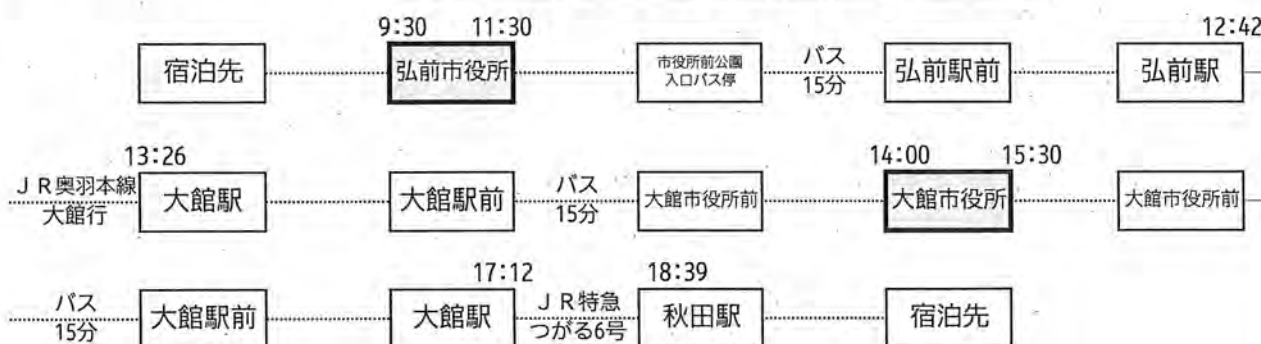
□ 1日目：7月2日（月）

八戸市：本のまち八戸の取り組みについて



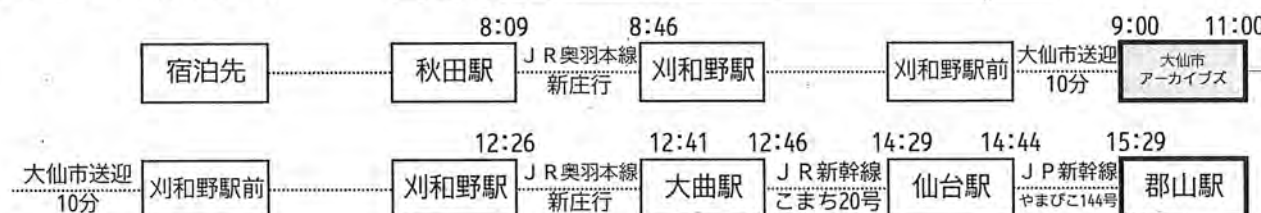
□ 2日目：7月3日（火）

弘前市：ローカルベンチャーの育成について  
大館市：サテライトオフィス事業について



□ 3日目：7月4日（水）

大仙市：公文書館の設置について



2 人員 1名

大城 宏之 議員

### 3 調査内容

○平成30年7月2日（月） 13：15～15：15

八戸市：八戸ブックセンター  
・本のまち八戸の取り組みについて

○平成30年7月3日（火） 9：30～11：30、14：00～15：30

弘前市役所  
・ローカルベンチャーの育成について  
大館市役所  
・サテライトオフィス事業について

○平成30年7月4日（水） 9：00～11：00

大仙市：大仙市アーカイブズ  
・公文書館の設置について

### 4 連絡先等

(1) 八戸ブックセンター【調査先】  
〒031-0033 青森県八戸市六日町16番地2  
TEL 0178-20-8368  
(八戸市議会事務局 庶務課 0178-43-2145)

(3) 大館市議会事務局 キタバヤシ様  
〒017-8555 秋田県大館市字中城20番地  
TEL 0186-43-7108

(2) 弘前市議会事務局 フクダ様  
〒036-8551 青森県弘前市大字上白銀町1-1  
TEL 0172-35-1121

(4) 大仙市アーカイブズ【調査先】  
〒019-2335 秋田県大仙市強首字上ノ台1-2  
TEL 0187-77-2004  
(大仙市議会事務局 シンドウ様  
TEL 0187-63-1111 (内線304))

平成 30 年 7 月 10 日

## 政務調査報告書

創流会 大城宏之

・用務先 青森県八戸市・弘前市  
秋田県大館市・大仙市

・目 的 青森県八戸市：八戸ブックセンター  
・本のまち八戸の取り組みについて

青森県弘前市役所

・ローカルベンチャーの育成について

秋田県大館市役所

・サテライトオフィス事業について

秋田県大仙市：大仙市アーカイブス

・公文書館の設置について

① 青森県八戸市：八戸ブックセンター  
・本のまち八戸の取り組みについて

市長の政策公約「本のまち八戸」を推進する中心拠点とする為に市街地中心部に整備された公設の市直営の「書店」

施設運営の基本は 3 つ。①本を「読む人」を増やす ②本を「書く人」を増やす ③本で「まち」を盛り上げる

民間の書店は、本の販売が主であるが八戸ブックセンターは、ベストセラー等の書籍は扱わず、提案型・編集型の陳列による本の閲覧スペースの提供や販売、本に関するイベントの開催等を行い、他の民間書店に置かない（無い）本の販売を行う。

また、ギャラリーやカフェを併設し市民が気軽に立ち寄れる「本のミュージ

アム」を目指している。

更には、幼児（3歳児）から高齢者まで「本」を通じて「八戸市」を盛り上げて行くと言う事に共感を覚えました。

拝

## ② 青森県弘前市役所

### ・ローカルベンチャーの育成について

この事業は、2016年岩手県遠野市でスタートされた制度。地域おこし協力隊制度で、任期は3年。自治体に対して総務省より財政支援（特別交付税措置）があり、一事業に対して400万円×3年間適用となる。全国各地でプロジェクトがあり、福島県に於いても南相馬市でローカルアートプロジェクト（アートコミュニティ拠点の運営）が行われている。

弘前市のローカルベンチャー育成事業は、「まち全体をキャンパスにする！」をコンセプトに、弘前市に多様な人を呼び込み、その人の持つ知識、経験、技術等を持ちより、市民と調和、融合しながら世代や立場を越えて学び合い、新しいまちの創造を目指すもの。

学生・若者と地元事業家（プレイヤー）と企業家が三位一体となりベンチャー企業を育成して行くプロジェクト。

りんごの未来に賭ける就農者援助、ブドウ栽培からワイン醸造、地域に根差したワイン産業の創造、八百屋・野菜のスペシャリスト育成など、色々な分野での未来の弘前市を創造する企業家育成支援事業。

我が市に於いても、この様な助成制度を利用して新規就農者の募集等を企画する様働き掛けて行きたいと思う所です。

拝

## ③ 秋田県大館市役所

### ・サテライトオフィス事業について

サテライトとは英語「Satellite（衛星）」が語源の由来。大館市サテライトオフィス事業は、「地方型！」あえて人口の少ない地方都市で、大都市と田舎と言う対局の場所に設置する事により、人材の確保、働き方改革、災害発生時等のリスク分散等のメリットがある。

しかし、デメリットもあると企業側が言う。コミュニケーションが不足しがちになる事や、オフィス設置に資金と労力が掛ると言う点。



大館市に於いては、総務省の地域経済循環創造事業交付金(18億7,000万円)を活用して、中央の大企業に対して「都会人の心をくすぐる」提案を立案して誘致を図っている。

逆手に取り、過疎地を謳い、大都市と異なる非日常感を全面に打ち出し、山奥であるが、Wi-Fi完備、温泉完備、大自然の良さ、食の新発見等をアピール。法人税等の減免も視野に入れてアプローチ。

原則として三大都市圏に所在する企業を対象に「お試し勤務地」を推奨し実績を挙げている。

我が市に於いても、小・中学校の廃校利活用に向けて、郡山市モデル(提案)の調査、研究、立案が成されれば良いと思う。

拝

#### ④ 秋田県大仙市：大仙市アーカイブス

##### ・公文書館の設置について

大仙市は、2005年に8市町村が大同合併し誕生。よって、「ふるさとの記憶と記録を守る大切な拠点」の位置づけの基、10年の歳月を掛けて東北の市町村で初の「公文書館」が設置されました。

先に廃校となった小学校を改修し開館の運びとなり、事業費は三カ年で、約3億6,000万円。国の補助金である、社会資本整備総合交付金及び空き家対策総合支援事業補助金を充当。

政務調査(現地視察見学)は、大変有意義でした。①東北の市町村で初の公文書館で、27万点余の資料が収蔵可能。②公立小学校の廃校利活用は、全国的に珍しく、体育館は大書庫(収納庫)③公文書館構想実現を訴え、支えた市民ボランティアが現在も4団体が現在も活動中④「アーキビスト」と呼ばれる、資料の収集・保管を担う専門職(大学卒)の採用、⑤最後に名称が公文書館ではなく、アーカイブスと名付けたのは、映像など多様な資料を収蔵する為だそうです。

人口減が続く中、過去に光を当てて未来に目を向ける。記録が無くなり、語り継ぐ人も居なくなれば、地域の歴史と伝統は失われて行くと思います。我が市に於いても、散在する歴史資料を集めて公文書館設立に向けて働き掛けて行きたいと思います。

拝

八戸市まちづくり文化スポーツ部  
まちづくり文化推進室



八戸ブックセンター所長

音喜多 信嗣

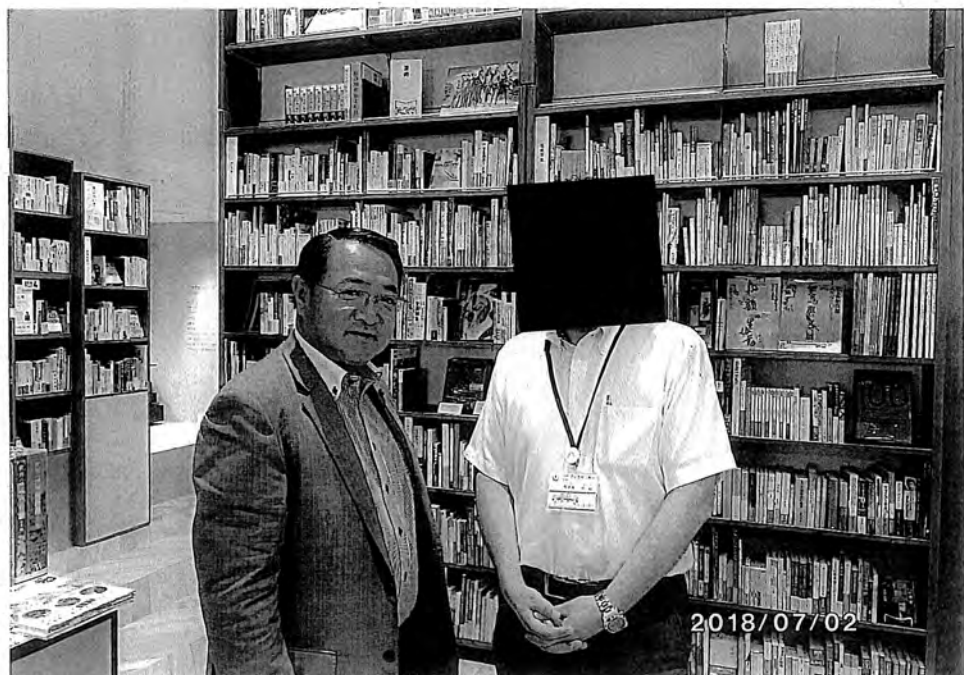
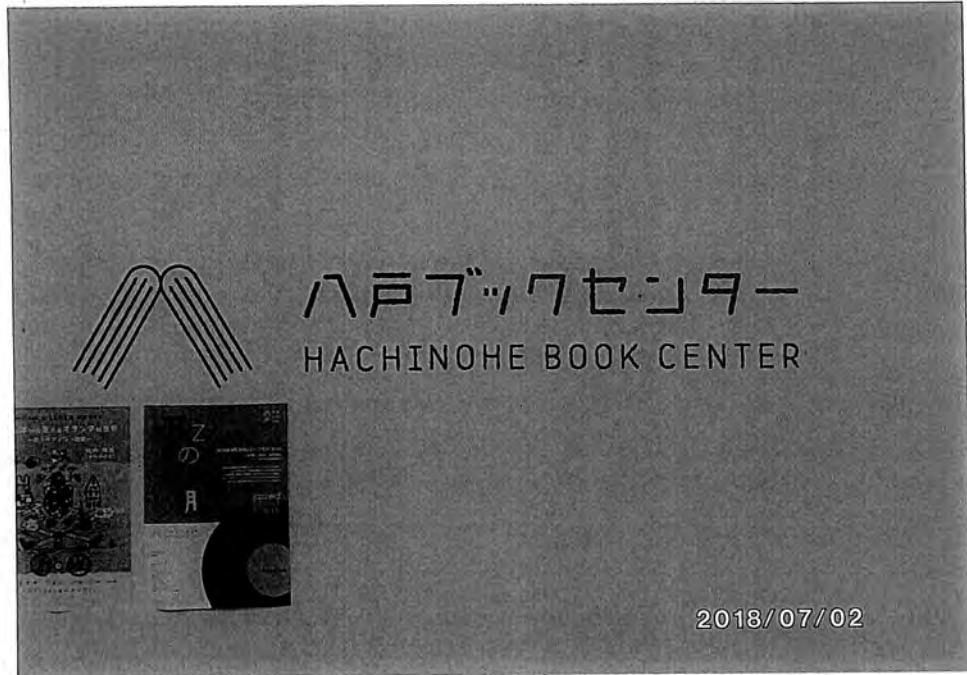
nobutsugu OTOKITA

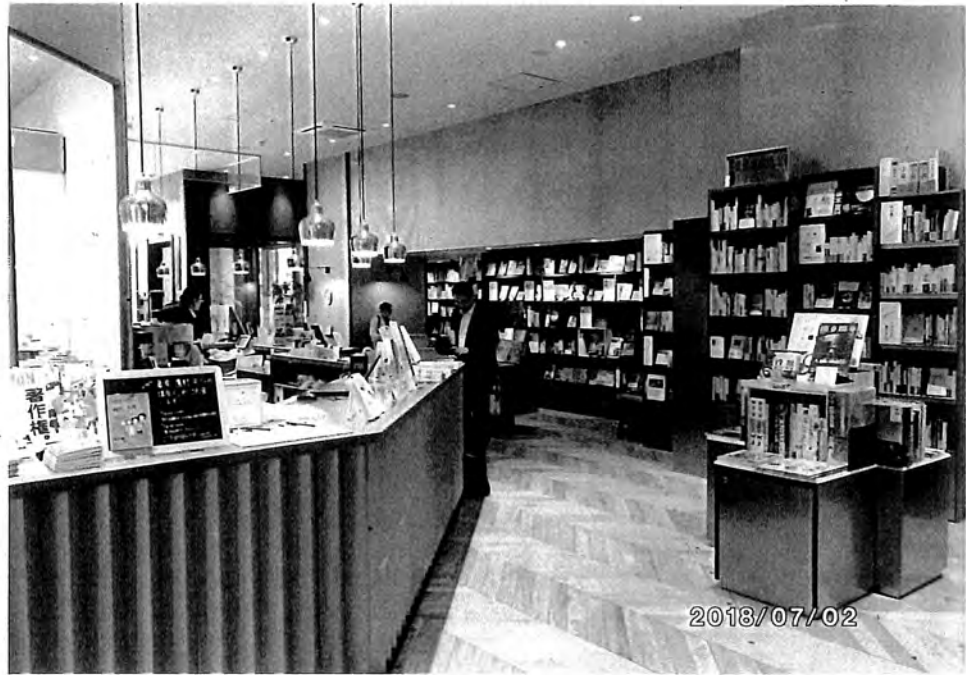
八戸ブックセンター

〒031-0033 青森県八戸市六日町 16-2 Garden Terrace 1F

TEL 0178-20-8278 FAX 0178-20-8218

<https://8book.jp/>





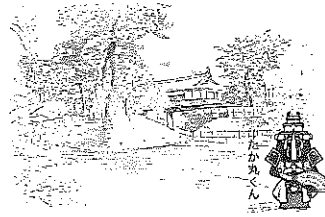
 弘前市

議会事務局

次長補佐

前田 修

MAEDA OSAMU



ひろさき空ひとまる白装 弘前公園 進手門

〒036-8551 青森県弘前市大字上白銀町1-1  
TEL. 0172-35-1111 (内線295) FAX.0172-35-3005

E-mail: 





弘前市議会事務局

総務係

主査 福田 育子


Ikuko Fukuda

〒036-8551 弘前市大字上白銀町1番地1  
TEL: 0172-35-1121 FAX: 0172-35-3005  
E-mail: 

 弘前市  
Hirosaki City

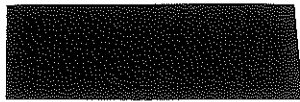
経営戦略部 ひろさき未来戦略研究センター  
人口減少対策担当 総括主査兼政策研究員

佐々木 幸生

〒036-8551 青森県弘前市上白銀町1番地1  
TEL:0172-40-7121 (直通) FAX:0172-35-7956  
E-mail:   
URL: <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/kurashi/ijuu/>

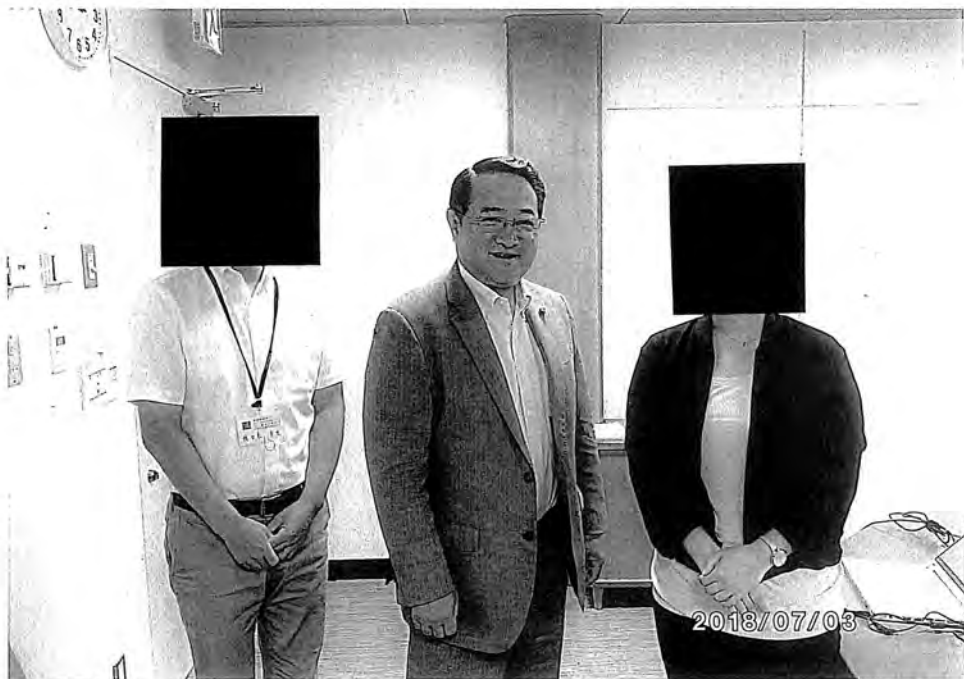
Next Commons Lab 弘前

コーディネーター Coordinator



〒036-8182  
青森県弘前市土手町133-1 西谷ビル1F  
Nishiya Building 1F, 133-1, Dotemachi,  
Hirosaki-shi, Aomori, 0360182, Japan








大館市議会事務局  
議事調査係


伊藤 雅孝

〒017-8555  
秋田県大館市字中城20番地  
TEL 0186-43-7108 (直通)  
0186-49-3111 (代表)  
FAX 0186-49-0573  
Eメール giji@city.odate.lg.jp



 大館市  
産業部 商工課

課長  
石田 一雄

〒017-0897  
秋田県大館市字三ノ丸13番地19  
TEL 0186-43-7071  
FAX 0186-49-3133  
E-mail 

秋田県大館市  
産業部 商工課  
企業集積係



係長 北林 裕 Yutaka kitabayashi

〒017-0897 秋田県大館市字三ノ丸13-19  
TEL 0186-43-7071 FAX 0186-49-3133  
Mail 





# 大仙市アーカイブズ

館長 細川 良隆

過去～現在そして未来に  
つなげる史料がここにある

〒019-2335 秋田県大仙市強首字上野台1番地2  
TEL 0187-77-2004

E-mail



DAISEN  
CITY



大仙市マスコットキャラクター  
まるびちゃん

大仙市アーカイブズ

副主幹 森川 悌一

もりかわ ていいち

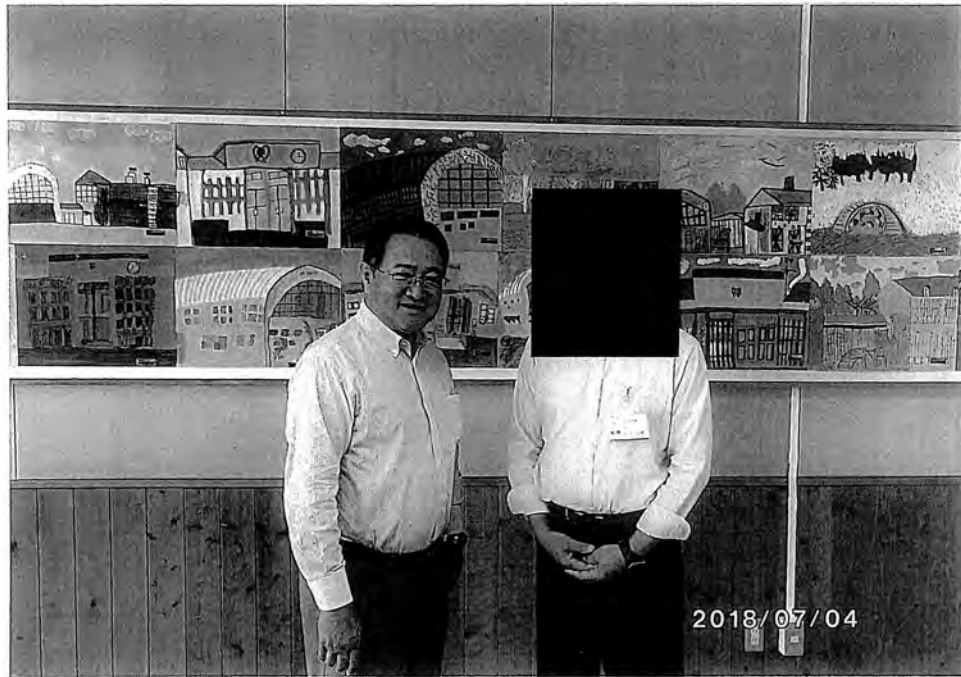
大仙市役所 総務部総務課アーカイブズ

〒019-2335 秋田県大仙市強首字上野台1-2

TEL 0187-77-2004

E-mail





# 八戸ブックセンター基本計画書

平成28年5月

八戸市



はじめに

## ○整備の背景

八戸ブックセンターは、政策公約に掲げる「本のまち八戸」を推進する中心拠点として、本に関する新たな公共サービスを提供することで、市民のみなさんに様々な本に親しんでいただき、市民の豊かな想像力や思考力を育み、本のある暮らしが当たり前となる、文化の薫り高いまちを目指すとともに、当施設を中心市街地に開設することにより、来街者の増加、回遊性の向上を図り、中心市街地の活性化にもつなげることを目的として開設が計画されました。

### 市長政策公約（一部抜粋）

「本のまち八戸」を目指し、赤ちゃんを対象にした「ブックスタート」と新小学生を対象にした「ブッククーポン」の配布を行うとともに、書店との連携により、本のセレクトショップ「八戸ブックセンター」を開設します。

当公約に掲げる3つの取組のうち、既に下記の2事業が先行して行われています。

### ○ブックスタート事業

八戸市総合健診センターでの股関節脱臼検診の終了後に、ボランティアによる絵本の読み聞かせを行った後、絵本1冊と図書館の利用案内などを渡し、赤ちゃんと保護者が絵本を介して心ふれあう時間を持つきっかけを提供。

### ○マイブック推進事業

市内の小学校に通う児童に、市内書店で本を購入できる「マイブッククーポン」を配付し、保護者とともに書店に出かけ、自ら本を選び購入する体験を通して読書に親しむ環境をつくる。

また、「本のまち八戸」の更なる推進のため、下記の事業を新たに創設しました。

### ○“読み聞かせ”キッズブック事業

市内の3歳児を対象に、市内書店で本を購入できる「キッズブッククーポン」を配付し、幼児教育の初めとなる3歳児に対し、保護者が絵本等の読み聞かせを行うきっかけをつくる。

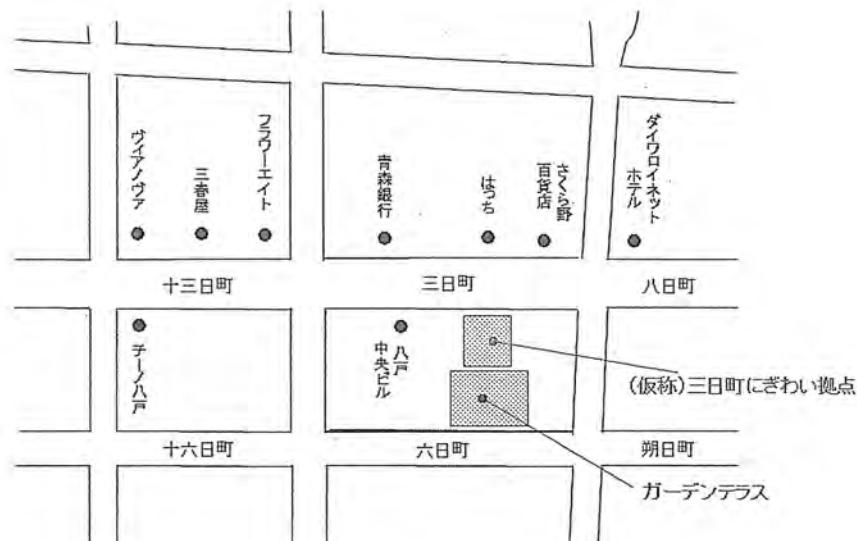
## ○施設の概要

八戸ブックセンターは、株式会社江陽閣が、旧レックビル・マルマツビル跡地の六日町側に建設した複合ビル「ガーデンテラス」の1階に設置します。

当複合ビルは、商業・業務機能を有する地上4階建てのビルで、1階は公共用通路を挟んで物販テナントと飲食テナントを、2階と3階はオフィスを、4階は屋上テラスと飲食テナントをそれぞれ配置する予定となっています。

### 【施設概要】

名称 八戸ブックセンター  
住所 八戸市大字六日町16番地2 ガーデンテラス1階  
面積 約315㎡

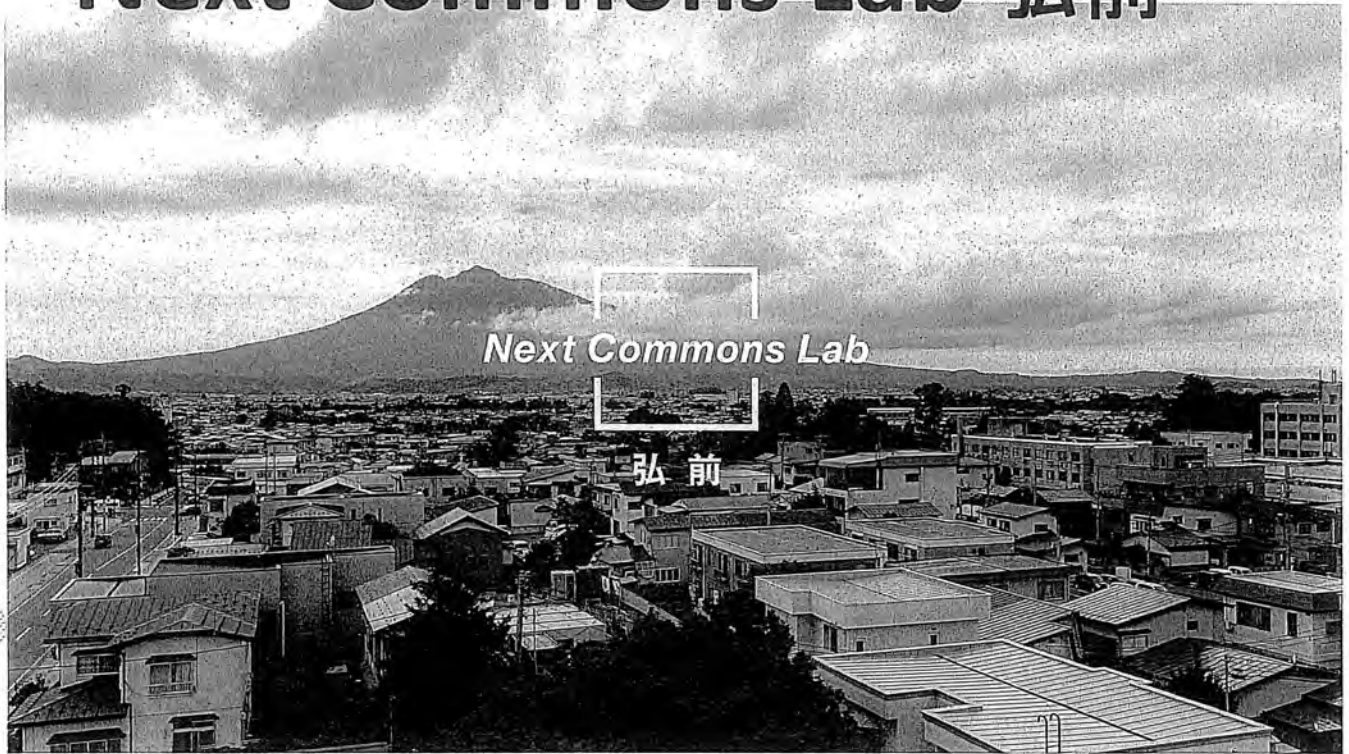


「ガーデンテラス」の三日町側に隣接する約1,100㎡の敷地には、屋根と壁がガラス張りで、2階デッキを擁した全天候型の多目的広場「(仮称)三日町にぎわい拠点」が整備される予定となっています。

当広場は、水・緑・光などの自然を感じられる街なかの「庭」の役割を担う「マチニワ」をコンセプトとしており、日常的に人が集まる場所として、八戸ブックセンターで購入した本を広場で読んだり、広場を利用して、本にまつわるイベントを行うことも想定しています。

ひろさきローカルベンチャー育成事業

# Next Commons Lab 弘前



2018/7/3 郡山市議会行政視察資料  
弘前市役所ひろさき未来戦略研究センター



## ネクストコモンズラボ Next Commons Lab とは



未来の風景  
を創造する

10人の  
起業家求む。

# まち全体を キャンパスにする

キャンパスは、学びと実験を繰り返す探求の場である。

多様な人が集い、知識や経験、技術を持ち寄り、

成長する場所、自己実現の場所、革新が起こる場所として

あらゆる場所がキャンパスになる。

暮らしと仕事の実践の中から、世代や立場を越えて学び合い、

あたらしい価値とまちの未来を創造する。



弘前



# 〈NCL弘前 プロジェクト一覧〉



## Apple Project りんごの未来への小さな一歩

弘前といえばりんごの生産量日本一。地域の基幹産業となっていますが、多くのりんご農家は高齢化と承継の課題を抱えています。明治以降続くりんご生産を未来へと繋いで、持続的な発展ができる産業とするために、小さいながらアクションをおこしていきます。ひとつはりんご農家への就農支援とマッチングの仕組みを構築すること。弘前でりんご農園とシードル工房を営む高橋哲史氏のもとで技術習得しながら、新たな就農者のためのマッチングの仕組みをつくり事業化を図ります。また現在その多くが青果として流通するりんごですが、シードルをはじめとした加工品を開発し、いわゆる六次化することで新たなビジネスを創出していくことができるでしょう。そうした商品開発のためのシェアキッチン・加工場を整備し、誰もがりんごの可能性から新たなビジネスを立ち上げることができる環境をつくっていきます。就農者を増やす仕組みを構築し、多様な商品開発を促進していくという両面で、それぞれの起業家が協力しながらりんご産業の未来を見据えて事業をつくっていきます。

**募集人材: ①就農支援ディレクター ②シードル醸造家 / 商品開発ディレクター**

## Wine Industry 地域に根ざしたワイン産業の創造

弘前でイタリアンレストランを経営する傍ら、自ら野菜や生ハム・チーズ・ワインまでつくっている笹森通彰氏。弘前の地で本格的にワインづくりを進め、将来的には弘前の一大産業にまで発展する可能性を感じている。そのビジョンを共有し、ブドウ栽培からワイン醸造、流通やワイン消費の文化醸成に至るまで、笹森氏の元で修業をしながら弘前のワイン産業を育てていくための人材を求めています。日本ワインが世界的にも注目されるようになり、その定義などが整備されつつある今、素材や環境にもこだわるワインづくりには大きな可能性があります。日本ワインの産地としてまだ未開拓である弘前には多くの可能性が残されています。未来とともに構想し、多くの人が集まる弘前的一大産業とするために、新たなワインの中心地をつくっていきます。

**募集人材: ワイン醸造家 / ぶどう農家**

## Greengrocer 2.0 八百屋2.0 野菜のスペシャリスト

弘前といえばりんご栽培が有名ですが、野菜の生産も非常に盛んに行われています。八百屋は、本来生産者と消費者をつなぎ、野菜や果物の魅力を伝え、持続的な生産現場と豊かな食卓をサポートする役割を担うスペシャリストでした。大型商業施設などに押されて地域の八百屋さんは減少傾向にありますが、やはり地元生産と消費事情に精通し、日々の暮らしに密着した彼らの存在は非常に魅力的です。このプロジェクトでは、そうしたこれまでの八百屋としての役割も果たしつつ、さらにバージョンアップした、野菜や果物の総合会社のような新しい八百屋を目指していきます。ただ生産者と消費者をつなぐだけではなく、一般消費者や事業者のニーズに対応し、農作物の可能性を最大限引き出せる存在になります。そうすることで、これまで流通にのらずに消費しきれなかった野菜の利用を拡大し、地元産の野菜を地域で消費する流れをより促進することができます。弘前を中心に積極的に野菜販売を手がける「ひろさきマーケット」の高橋信勝氏のもとで学びながら、新たな事業開発と消費・流通文化の創造に向けて動いていきます。

**募集人材: 八百屋経営者 / 事業開発ディレクター**

## Artist in Guesthouse アーティストとともに学び気づく

ゲストハウスにワークショップスペースとアトリエを併設し、アーティスト・イン・レジデンスを弘前に立ち上げます。このレジデンスはアーティストの活動拠点になるとともに、地域の課題をアーティストの視点から考察し、問題提起～アクションへとつなげるためのワークショッププログラムも開催します。誰もが創発し合う場となることで、気づきと学びを蓄積し、それらの知見を地域に還元していくための仕組みをつくっていきます。アーティストやその作品が、ゲストハウス独自の存在価値とコミュニティへとつながり、ビジネスとしても展開できるモデルを目指します。アーティストのアイデアや創作活動を身近に感じることができる拠点を市内に点在させることで、新鮮な文化と人材の流動性を担保し、街の新たな魅力へとつなげていくことができるでしょう。芸術文化都市へと進化する弘前において、市民活動～地域創造の一端をつくっていきます。

**募集人材: ①管理運営者 ②アーティストマネージャー / アートプログラム開発 / エducーター**

## Infrastructure for Students 学生のまちのあたらしいインフラ

弘前市は6つの高等教育機関があり、人口に占める学生の割合も多い地域です。NCL弘前の展開においては、学生が自由にチャレンジし、地域での様々な活動に参画していくことが重要だと考えています。本プロジェクトでは、共に暮らし様々なものをシェアしながら、学生一人一人のコストを抑えた生活環境を安定的に提供し、また地域における多様なネットワークへの接続と学びの機会を提供することを目指します。ベースとなるのは複数のシェアハウスと緩やかなコミュニティの運営。学生だけではなく、社会人や起業家など様々な立場の人が住み関わることで、学生にとって新たな刺激や学びに繋がります。学生と社会人のスモールコミュニティがいくつもあることで、実社会と緊密に繋がった新たな学生のまちへと成長していくでしょう。

**募集人材: コーディネーター / コンテンツディレクター**

## Local Internship & Schooling 地域のすべてが学びになる

「まち全体をキャンパスにする」というNCL弘前のビジョンを具現化するためのプロジェクトです。弘前で活躍するプレーヤーや企業の課題解決、また地元での人材育成など、継続的に自律的にそうしたことへの取り組みができる仕組みをつくっていきます。ローカルインターン事業では、地元のプレーヤーや企業と「インターン生」のマッチング事業を実現します。スクール事業では、ローカルインターンに参加する人の裾野を広げていく重要な役割を担います。インターンプログラムへの参加をする前段階として、学びの場をプロデュースしていきます。地元プレーヤーを中心とした様々な技術や経験を持つ講師のもとで誰もが学べる場を企画し、インターンや課題解決のプロジェクトへと参画するきっかけを創出します。ローカルインターン事業と連携しながら、インターンに参加したり、新たなプロジェクトを立ち上げるという動線をつくっていきます。

**募集人材: ①インターンコーディネーター ②プログラム開発ディレクター**

## Original Project 自由提案

弘前市には、岩木山周辺の自然、温泉、伝統工芸など他にも事業の種となる資源がたくさんあります。そのような弘前市の資源を活かした自由な発想でのビジョンと事業プランを提案することができます。地域の未来、社会的インパクト、他地域などへの展開、事業としての収益性・継続性等、プロジェクトとしての可能性を描いてください。NCL弘前で採択した場合には、その実現に向けた動きをサポートしていきます。

**募集人材: 提案の事業内容に準じる**





福島県郡山市市議会議員 大城 宏之 様

## 大館市の商工業

～サテライトオフィスへの取り組みから始まる関係性人口の拡大～



H30. 7. 3 大館市商工課

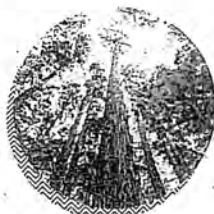
秋田犬や比内地鶏をはじめ、きりたんぼ、秋田杉、天然温泉など「おおだて」には数多の資源があります。四季をとおして、自然の色彩、香り、味覚をはっきりと実感でき、たくさんのお祭りや食を体験できます。



秋田犬とのふれあい  
忠犬ハチ公のふるさと



日本三大美味鶏  
比内地鶏



日本三大美林  
天然秋田杉の森



本場大館きりたんぼ  
作り体験



大館曲げわっぱ  
作り体験



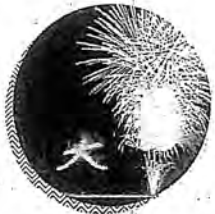
黄金の稲穂  
あきたこまち



市内36カ所の  
天然温泉



庭冬の  
美しい冠雪



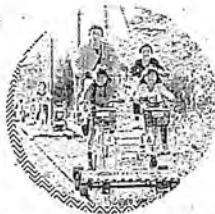
夏の風物詩  
日本の大文字



歓喜に沸く  
大館神明社例祭



四百年の伝統  
大館アメッコ市



路線を活用した  
レールバイク

### アクセス

飛行機 羽田空港-大館能代空港(約70分)  
鉄道 東京-<JR秋田新幹線こまち>-角館/角館-<秋田内陸縦貫鉄道>-大館(約6時間)  
東京-<JR東北新幹線はやて>-新青森/新青森-<JR奥羽本線>-大館(約5時間)  
高速バス ジュピター号 池袋-大館(約9時間) 都市間バス 仙台-大館(約4時間半)  
大館市内~比内町大葛・自動車(40分) バス(60分)



SATELLITE OFFICE ODATE

<http://www.so-odate.online>

お問い合わせ先: 大館市産業部商工課 TEL: 0186-43-7071 E-MAIL: kigy@city.odate.lg.jp

# 星と緑と温泉の360°パラマ

サテライトオフィス体験事業

秋田県大館市



SATELLITE OFFICE  
ODATE

[www.so-odate.online](http://www.so-odate.online)



## 「星と緑と温泉の360° パノラマ」サテライトオフィス体験事業

都会の雑踏での生活、日常が追い求める便利、足早に過ぎ去る時間の中、静寂と鳥のさえずりがこだまする此処には、「何もない不便」だからこそその美しさ、やすらぎがあります。緩やかな時間、雄大な自然、美味しい食、豊富な温泉、そして飾らない笑顔の「おおだて」人。「おおだて」は、この何もない田舎で、新たな発想をもってサテライトオフィスや地域資源を活用した事業展開に対し「一緒にやる」企業・個人を求めます。

パソコンと着替えと飲食費のみ自己負担

負担なし

現地までの旅費

航空券・新幹線(往復分)

オフィス環境

コテージ・Wi-Fi・周辺機器

温泉

毎日入浴無料

現地での移動

レンタカー・自転車

滞在生活費

コテージ・家電・食器

資源体験

曲げわっぱ・きりたんぼ他

説明会：平成29年4～5月開催予定

東京を会場に、SOO(サテライトオフィスおおだて)の概要について説明会を開催します。

お試し体験ツアー：平成29年5～6月開催予定

企業等の担当者を対象に、1泊2日でSOOの魅力を実験いただくためのツアーを開催します。

募集対象：三大都市圏に所在する企業等

IT、デザイン、製造、出版、ソフト開発、サービス業、個人事業主(フリーランス)など。

募集期間：平成29年4月～9月

申込者が多数となり、予定する人数に達した場合は終了することもあります。

受入人数：1日最大36人(6人×6棟)

繁忙期又は少人数の場合は、複数企業による相部屋を提案させていただくこともあります。

滞在期間：3日～2週間

繁忙期又はコテージに空きがない場合などは、調整を提案させていただくこともあります。

申込方法：ウェブサイトから <http://www.so-odate.online>

申し込みフォームまたはPDFをダウンロードしてお申し込みください。

後日、内容等をヒアリングさせていただきます。

おためし体験周辺図(ベニヤマ自然パーク)

サテライトオフィス(コテージ)

広場や遊具でリフレッシュ

Wi-Fi設備で環境整備

芯から温まる温泉でリラックス

入浴料はなんと100円

キャンプやバーベキューも楽しめます

春には満開の桜

きりたんぼグランプリの絶品きりたんぼ

秋田県大館市比内町大葛地区は古くは金山で栄えた地域です。大葛温泉はアルカリ性高温温泉で関節硬化症、切り傷・やけど・慢性皮膚病などに効果があるとされ皮膚病に効くと評判の温泉です。

自然の中に見える6棟のコテージ。里山の麓、マイナスイオンや満天の星を全身に浴び、リフレッシュできる環境で、心機一転、新たな発想が湧き出ます。

木の香りが漂う解放感。室内にはオフィス環境の他、住生活に必要な設備が整備。屋内外での執務を快適にします。(家電・台所用品・ベッド・シャワー・OA機器他)



# 大仙市アーカイブズ設置概要

## 1 概要

旧双葉小学校（平成23年度(2011)をもって廃校）を改修し、平成29年5月にアーカイブズ（公文書館）として開館した。

収蔵する歴史資料は、行政文書（行政資料を含む）及び地域史料とする。

機能配置については、旧校舎1階に閲覧室、多目的研修室、展示室、事務室、資料整理作業室等を配し、旧校舎1階に来館者が使用するすべての機能を集約する。旧校舎2階は古文書等を収蔵する貴重書庫とし、旧体育館は行政文書を中心に収蔵する大書庫とする。

## 2 施設の所在 大仙市強首字上野台1番地2

## 3 施設の構造・規模（平成29年3月完成）

- ① 管理棟（旧校舎）：木造一部RC造2階建て 3,231.47㎡
- ② 渡り廊下：RC造平屋建て21.08㎡
- ③ 大書庫棟（旧体育館）：RC造一部木造2階建て 1,211.63㎡ 合計 4,464.18㎡

## 4 施設の諸元 書架延長 7,369m（旧校舎等 2,777m、旧屋内運動棟 4,592m） 収蔵可能冊数：約27万冊（A4判、厚さ25mm換算）

## 5 施設の主な機能配置

- ① 管理棟1階：閲覧室、展示室、研修室、CD-DVD保管室、作業室、事務室
- ② 管理棟2階：貴重書庫、特別貴重書庫
- ③ 大書庫棟：書庫、規格外書庫、図面保管庫

## 6 施設の主な改修内容

書庫等設置、防火改修、防虫改修、空調改修、構造改修、給排水衛生設備改修、電気設備改修、機械設備改修

## 7 事業年度、事業内容及び事業費

- ① 平成26年度 基本設計 1,890,000円
- ② 平成27年度 実施設計 6,211,080円
- ③ 平成28年度 改修工事等 351,751,680円

## 8 一般財源を除く財源

- ① 国庫支出金（補助率1/2）
  - ・ 平成26、27年度：社会資本整備総合交付金（小規模住宅地区等改良事業（空き家再生等推進事業 活用事業タイプ））
  - ・ 平成28年度：空き家対策総合支援事業補助金
- ② 起債：合併特例債（充当率95%、交付税算入率70%）



大仙市アーカイブズ全景

人+金

・アーキivist  
(学院)

4名+1名

4名

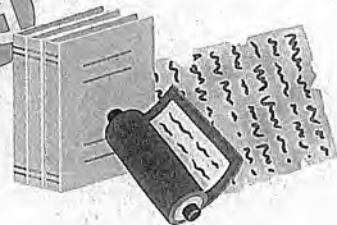
1419年

8市町村合

# 大仙市アーカイブズ

アーカイブズ入門

～ 大仙市のマスコットキャラクターたちが紹介するよ～



タイムじいさん



デカラビ子ちゃん



だけ丸くん



ドンパンじっちゃん



ぼたぼん



柵麻呂くん



まるびちゃん  
(奴隸 Ver)



ささ子



ささ太





# 大仙市アーカイブズの取り組み



まるびちゃん、大仙市アーカイブズは、大仙市の公文書や地域の古文書などの歴史資料を、収集・保存・整理して、利用してもらうことを目的とした施設なんだよね。施設の中ではどんな業務をしているのかな？

ささ太くん、大仙市アーカイブズでは、主にこんな業務を行っているよ。

- ①収集 評価選別された行政文書の移管、寄贈・寄託資料の受入、市内の資料調査。
- ②整理 管理番号の付番、目録の作成。
- ③保存 資料のクリーニング、適切な環境下での資料保管。
- ④公開・利用 資料目録の公開、閲覧サービスの整備。
- ⑤普及・調査・研究 企画展や講座の開催、刊行物の出版



①にある評価選別っていうのは何のこと？

だけ丸くん、評価選別は、保存期間を過ぎた文書が歴史的に価値がある資料かどうか評価して、廃棄と保存に選別する作業のことだよ。

大仙市役所では毎年約700冊以上(本庁の場合)の文書の保存期限が切れるんだ。これらを実評価選別基準に従って、大仙市アーカイブズへ移管するべき文書なのか1冊ずつ選別しているよ。



まるびちゃん、大仙市アーカイブズには紙の資料を中心に、大仙市の歴史が保存されると思うんだけど、適切に歴史資料保存をしないと、紙の資料ってどうなっちゃうの？



テカラピ子ちゃん、これは、ネズミの被害にあった歴史資料だよ。保存場所に、ネズミがいたんだね。彼等にとっては、巣作りのよい材料になったんだよ。紙の資料は、虫による虫損や湿度によるカビの発生、長時間にわたる直射日光には本当に弱いんだ。

だから、大仙市アーカイブズでは、残されてきた歴史資料を適切な環境で保存するために、がんばっているんだよ。



大仙市アーカイブズでは、現在だけでなく、未来の世代も、歴史資料を利用できるように取り組んでいるんだね。

